

# 農 大

# だより

令和6年10月31日発行  
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831  
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和6(2024)年度版



## 酪農専攻



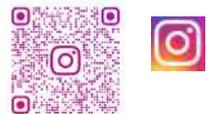
## CONTENTS

- 1 専攻紹介 酪農
- 2 クラブ紹介(野球部、バスケットボール部、テニス部)
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス  
農業関係高校農場長との意見交換会、  
経営管理研修「パソコン農業簿記活用」、  
特別推薦入学試験の実施
- 5 お知らせ  
令和7年度入学者選抜試験  
農大祭2024の開催

愛知県立農業大学校  
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



## 専攻紹介

# 酪農専攻

酪農専攻では、搾乳牛20頭、育成牛23頭、肥育牛17頭、和牛4頭を飼養しており、1年生11名、2年生15名の計26名で飼養管理作業を行っています。多くが非農家出身で、入学してから初めて牛と触れ合う学生もいますが、すべての学生が半年ほどで一通りの管理方法を身につけます。

昨年度は牛の分娩の兆候を検知しメールで通知する「牛温恵」、今年度は夏場の牛舎の暑さを和らげる細霧装置を導入するなど、スマート農業に対応した人にも牛にも「優しい」酪農を目指しています。酪農は朝夕2回の搾乳作業など毎日欠かさず作業を行う必要がありますが、その分酪農専攻は団結しており、実践的な技術を楽しく身につけることができます。

## 牛と暮らす毎日



牛の扱い方、接し方等、  
基本的なことから学びます

夜の作業は18:00から  
当番生が担当します



## 酪農専攻のお仕事

牛の管理作業は搾乳、牛の餌づくり、給餌、分娩対応、子牛の哺乳、糞の処理など多岐にわたり、その全てを学びます。また、作業内容を一通り覚えた後は、自分の興味のある分野を深く学ぶこともできます。代表的な分野を紹介します。

### 搾乳



搾乳は毎日2回  
品質の良い生乳を出荷する  
ため努力しています

### TMR



搾乳牛へはTMRという餌を調整し  
給与しています  
牛の体調等を見ながら配合を変更します

### 子牛・哺乳



子牛の時期を健康に過ごすことは、その後の成長のためにも大切です

### 育成牛



しっかり食べて、24ヶ月齢ごろの分娩に備えます

### 肥育牛



濃厚飼料中心の給与のため、牛の状態に気をつけながら給与を行う必要があります

### 繁殖



子牛が生まれなければ乳は生産されません  
繁殖管理は酪農経営の根幹を担います

### 自給飼料・放牧



デントコーンサイレージ等自給飼料の作成や、牧草地での放牧にも取り組んでいます

### 堆肥



糞は堆肥化してほ場に還元する循環型酪農を実践しています



いつもお世話してくれてありがとう！

## 学生クラブ紹介

### 野球部

部員数 17名

（男子14名 女子3名）

活動日時 月～金曜日 16：30～（6月以降は不定期）

活動場所 グラウンド



こんにちは、野球部です。毎週月曜日から金曜日まで農業大学のグラウンドにてキャッチボールやバッティングなどいろいろな練習を行っています。毎年開催される東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会で連覇できるようがんばっています。初心者の方でも経験者の方でも結構ですので、野球部に入部して青春しませんか？

### バスケットボール部

部員数 15名

（男子15名）

活動日時 月曜日 17：00～

活動場所 体育館



こんにちは！バスケ部です。

部活では主にゲーム形式の練習をしており、経験者・未経験者関係なく仲良くプレーしています。

今年の東海近畿スポーツ大会では、善戦したものの実力及ばず初戦敗退という結果でした。しかし、他県の農大生と交流することができ、有意義な大会となりました。来年こそは良い成績を収めるためにも学年関係なく、熱心に練習に取り組んでいます。

## テニス部

部員数 10名  
（男子7名女子3名）  
活動日時 不定期 17:00～  
活動場所 運動場



こんにちは！テニス部です。

楽しくゆるくテニスをしています！東海近畿スポーツ大会の競技種目になっているので、農大の仲間たちだけでなく、他県の選手とも試合することができます！テニス未経験でも大歓迎です！一緒に楽しみましょう！



# 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## ○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6( 0)	8( 2)	6( 1)	13( 3)	13( 4)	15( 2)	11( 5)	6( 6)	78( 23)
2年	6( 2)	5( 1)	9( 2)	15( 5)	14( 7)	14( 3)	15( 6)	10( 3)	88( 29)
計	12( 2)	13( 3)	15( 3)	28( 8)	27( 11)	29( 5)	26( 11)	16( 9)	166( 52)



鉢花・緑花木

## シンビジウムが山から戻ってきました！

6月末から設楽町の山あげ地で避暑をしていたシンビジウムの山下げを先日実施しました。トラックの中に花芽の育ったシンビジウムをいっぱい入れて山から下りてきました。現在のところ生育は順調で、12月の農大祭にはたくさんのシンビジウムが並ぶはずです。この先、花が落ちたり折れたりしないように気をつかいながらの栽培管理が待っていますが、できるだけたくさんの商品を準備できるようがんばります。



切花

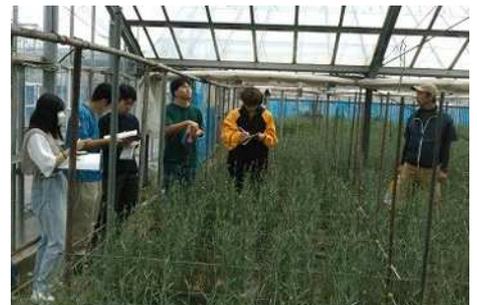
## 農大も、現場の農家さんも悩み事はみな同じ

校外学習で、西尾市の切花農家さんのほ場を3か所見学してきました。どの見学先でも、暑さ対策と害虫対策についての質疑応答で盛り上がったのが印象に残りました。

暑さについては、農大でも被害が出ていますが、農家さんたちも対策に苦慮していました。昔からある屋根が低い温室を使っていると、熱せられた空気が上に逃げていかないので、影響を受けやすいのだとか。お金がかかるので建て替えるわけにもいかず…といった状況のようです。

害虫については、周囲の大豆畑や麦畑で発生したヨトウガやアザミウマから、いかに自分のほ場を守るかが課題となっているようです。農大でも、他専攻の温室のコナジラミが切花のほ場に移ってきて、慌てて農薬を散布した思い出があります。

花を育てる者同士、同じようなことで悩むからこそ、情報を交換し合って解決することの大切さを学びました。





## さつまいもの収穫、販売の開始

ようやく秋らしい気候になり、サツマイモの季節になりました。露地野菜専攻で5月頃に定植したサツマイモが収穫時期を迎え、収穫しました。今年は「紅はるか」を収穫しました。収穫後はハウスで2週間程度キュアリングをして傷が腐るのを予防し、糖度を高くするために熟成させます。ぜひ直売で手にしてください。



## ナスを定植しました！

施設野菜専攻ではナスを例年、促成長期栽培しておりますが、今作はやや定植が遅れて10月上旬に定植しました。ナスは養液土耕栽培で栽培しており、水はけの悪さが問題となっていました。そのため、今作は散水チューブから点滴チューブに変更する等によって、対策を試みています。また、有機質肥料を使用して、環境負荷のかかりにくい農業についても学生のプロジェクト活動の一つとして取り組んでいきます。今後の生育やプロジェクト活動の成果が楽しみです。



## 県外学習で耐暑性品種について学ぶ！！

作物専攻では10月10～11日に県外学習を実施し、福岡県農林業総合試験場を訪問しました。福岡県で開発された「元気つくし」を始めとした耐暑性品種の説明を聞き、さらにその耐暑性を評価する施設も実際に見ることができました。学生たちは耐暑性品種を導入する利点について、しっかり理解をすることができたと思います。

また、ラーメン用の麦品種についても興味を持って話を聞いていました。





## 県外学習で福岡県農林業総合試験場を視察

果樹専攻では10月10日に福岡県農林業総合試験場にて県外学習を行いました。

福岡県ではブドウ、ミカン、カキ、ナシ、イチジクなどで新品种の育成や様々な試験をしているようです。愛知県でも同じ品目を栽培しており、学生も興味をもって話を聞いていました。

ほ場を回りながら説明を受けているときも、各品目の担当から積極的に質問もできており、非常に有意義な時間になったと思います。



## 毛刈り講習会を開催しました

愛知県ホルスタイン改良同志会のご指導により、毛刈り講習会を開催しました。本校酪農専攻の2年生の他、農業クラブ全国大会の家畜審査競技会に参加する安城農林高校の学生も参加し、盛況な講習会となりました。

講習会では、バリカンの基本的な使い方から、共進会での牛の見方まで幅広く学ぶことができました。牛の毛刈りは共進会での出品牛管理のみならず、暑熱対策としても有効であるため、来年の夏に向けて、技術を後輩へ引き継いでいきたいと思えます。

また、当日は講師として約10名の農家に来校いただきました。飼養管理の方法等についてもご助言いただく機会となり、大変有意義な一日となりました。



## 春ヒナが産卵を開始しました

養鶏専攻では春と秋の年2回、ヒナの入雛があります。これまで、愛知県の特産地鶏の名古屋コーチンを始め、赤玉鶏や白玉鶏、特殊鶏の烏骨鶏、アローカナを飼育してきましたが、今年度は地元の「岡崎」の名前が付いた「岡崎おうはん」のヒナを5月に導入しました。

学生はヒナから成鶏までの飼養管理、成鶏になってからの採卵、そして廃鶏にして肉になるまでの一連の流れを学びます。

今年は猛暑でヒナの生育にとっては難しい環境でしたが、2年生が昨年度の経験を生かし、1年生も過酷な鶏舎内環境に耐えながら飼養管理を頑張りました。

10月に入り春に導入した鶏が産卵を開始し、今後は実習販売で皆様に提供していきます。



## トピックス

**農業関係高校農場長との意見交換会を開催しました**

10月3日(木)、農業関係高校農場長との意見交換会を行いました。農大の概要と近況報告、農業高校全体の動向説明に続き、有機農業への取組や、農大入試について意見交換を行いました。

昼食は和耕寮(学生寮)の食事を堪能していただき、午後は校内ほ場を見学していただきました。



校内見学では、農高を卒業した学生が説明と近況報告を行い、農大で成長した姿を見ていただく機会となりました。

**経営管理研修「パソコン農業簿記活用」を実施しました**

10月7日(月)に経営管理研修「パソコン農業簿記活用」を行い、農業経営にパソコン農業簿記の導入を考えている農家及び本校研修生の計29名が参加し、大変意欲に満ちた研修となりました。

樋田講師による決算整理の手順の講義から始まり、続いて項目ごとに演習問題が出題され、仕訳、農産物の棚卸、減価償却、保険積立金の処理方法の説明を受けながらパソコンへの入力を行いました。

その後、入力済み伝票のチェックや決算修正のポイント、消費税の換算手法など、農業簿記ソフトを操作しながら習得しました。

最後の経営診断では、決算内容をグラフ化することにより、改善点が明確になりました。研修後のアンケートでは、「わかりやすかった。」「パソコンを導入してみたい。」等の感想をいただき、有意義な研修会となりました。

**農業系高校後継者等特別推薦入学試験を実施しました**

9月30日(月)に行われた令和7年度入学農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験では、県内農業関係高校7校から、16名が受験しました。

合格発表は10月8日(火)で、16名全員が特別推薦入学試験に合格しました。そのうちの8名が農業後継者、8名が非農家で、卒業後は就農を考えています。

今後、一般推薦入学試験が、11月1日(金)に行われます。就農や雇用就農に意欲のある学生の応募を期待しています。

## お知らせ

### 令和7年度入学者選抜試験

#### ●一般入学一次試験

- 出願期間 11月12日(火)～11月27日(水)  
試験日 12月10日(火)  
合格発表 12月19日(木)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数



・詳細は、本校ホームページを御覧ください

## 予告

### 農大祭2024を開催！！

愛知県立農業大学校は、農畜産物販売などを通して地域の方との交流を図り、農業大学校を身近に感じ、愛知県の農業の魅力を発信することを目的に「農大祭2024」を開催します。

#### ■ 開催日時

12月7日（土）午前9時から午後1時まで（入場開始 午前8時30分）

#### ■ テーマ

90周年だよ！ 農大祭！！ 全員集合！！！！

#### ■ 主な内容

##### ① 農畜産物の直売、食品バザー

各専攻で育てた鉢植え、切花、米、果樹、野菜、卵などの直売。五平餅、フランクフルト、からあげ、大学いもの販売など。

##### ② 農業大学校のPR

各専攻のパネル展示、農大キャンパスツアーを行い、農大を知るとともに魅力を発信。

##### ③ 各種団体・企業ブース

農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売。

※駐車場は例年混雑するため、公共交通機関を御利用ください。

公共交通機関の御案内：名鉄美合駅下車 南へ徒歩10分



<注意事項>

1 開催日時：2024年12月7日（土）午前9時から午後1時まで

2 受付・入場：午前8時30分から

3 環境に配慮してレジ袋は配布しませんので、エコバッグ等をご持参ください。

4 荒天等の場合は、中止や内容変更の場合があります。農業大学校 HP をご確認の上、お出かけください。

5 基本的な感染症対策の徹底をお願いします。体調の悪い方は、ご来場をお控えください。